

沖縄県ドクターバンクからのお知らせ

常勤・非常勤での勤務先を探している、ベテランの技を活かしスポット勤務で働きたいとお考えの先生方、または産業医として勤務できる事業所をお探しの皆様！沖縄県ドクターバンクに登録してみませんか？当バンクでは多くの求人情報の中から、皆様のご希望に合う医療機関をご紹介します。

☆下記の登録票に必要事項をご記入の上、沖縄県医師会事務局 業務1課まで、FAXにてお申し込みください。

FAX 番号:098-888-0089

沖縄県ドクターバンク登録票 (医師用)

*項目は必須

受付登録日： 年 月 日 受付番号：

ふりがな *氏名	-----		*生年月日	(西暦) 年 月 日生	
*住所	〒 -				
*連絡先	電話(自宅または携帯)：				
	E-mail：				
*医籍登録日	年 月 日登録	保険医登録番号	医 号		
*医籍番号	第 号	*専門診療科			
資格	専門医資格	その他の資格			
*現在の状況	①就業中 ②休職中(産休・育休・病休) ③離職中 ④その他：				
現在の勤務先					
希望条件	就業形態	①常勤 ②非常勤(頻度 回/月程度) ③その他：			
	希望診療科				
	施設種別	①病院 ②診療所 ③その他：			
	希望地域	第1希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
		第2希望： <input type="checkbox"/> 那覇 <input type="checkbox"/> 南部 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 北部 <input type="checkbox"/> 離島			
	勤務希望時期	①今すぐ ②平成 年 月頃から ③未定			
	勤務時間	勤務可能な曜日	月・火・水・木・金・土・日		
		勤務可能な時間帯	時 分 ~ 時 分		
	当直勤務	①できる ②できない			
	希望業務内容	①病棟 ②外来 ③健診 ④パート ⑤臨時 ⑥産業医			
	給与	常勤務の場合	月給：	以上	
		非常勤の場合	日給：	以上	月給： 以上
		臨時の場合	時給：	以上	
保育所	①必要 ②必要なし				
再就業のための再研修	①必要 ②必要なし				
その他希望					

*氏名、住所等の個人が特定される情報につきましては、個人情報保護関連法令に則り開示・公表また無断流用は一切いたしません。

《提出・問合せ先》
〒901-1105 南風原町字新川218-9
沖縄県医師会事務局
業務1課 ドクターバンク担当
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089



JMIP を受審して

南部徳洲会病院
赤崎 満

南部徳洲会病院は、2016年7月にJMIP (Japan Medical Service Accreditation for International Patients、外国人患者受け入れ医療機関認証制度) の認証を取得しました。今回、その更新のための審査を2019年5月に受けました。

JMIP は、政府が2010年に閣議決定した新成長戦略に基づき、その翌年厚生労働省の支援事業として策定されました。在日・来日外国人患者を安心・安全に受け入れるための医療サービスが提供できる医療機関を認証する制度です。一般財団法人日本医療教育財団が審査・認証を実施します。受審する医療機関は、いずれかの第三者機関の認証を事前に得ていることが要件となります。第三者評価には、①病院機能評価 (日本医療機能評価機構)、②国際医療機関認証 (JCI、Joint Commission International)、③ISO9001/14001 (国際標準化機構)、④臨床研修評価 (卒後臨床研修評価機構)、⑤人間ドック健診施設機能評価 (日本人間ドック学会) があります。2019年2月現在、全国で55施設がJMIP認証を受けています。有効期間は3年で、更新には再度審査が必要です。

JMIP 審査は2日間に渡り、2人の調査員によりマニュアル等の書類確認、院内ラウンド、担当者へのヒアリング等が行われます。審査の評価項目は、以下の5つに分類されます。1. 受け入れ対応：外国人患者に関する情報と受け入れ体制、医療費の請求や支払いに関する対応、2. 患者サービス：通訳体制の整備、翻訳体制の整備、院内環境の整備、患者の宗教・習慣の違いを考慮した対応、3. 医療提供の運営：外国人患者への医療提供に関する運営、説明と同意、4. 組織体制と管理：外国人患者対応の担当者または担当部署の役割、安全管理体制、5. 改善に向けた取り組み：院内スタッフへの教育・研修、外国人患者の満足度、です。

当院は、2015年12月にJCIを受審、2016年1月に国際医療支援室を立ち上げました。外国人患者受け入れに当たっては、この国際医療支援室が中心となって活動しています。

日本を訪れた外国人数は2018年は3,119万人でした。2008年は835万人でしたので、10年で3.7倍に増加しています (日本政府観光局 data)。沖縄県はさらにすごいことになっており、2018年度に沖縄を訪れた観光客は9,999,000人、うち外国からは3,000,800人でした。2008年度の訪沖外国人は237,000人でしたので、この10年で12.7倍に増えています (沖縄県入域観光客統計概要)。まさに隔世の感があります。

一方、沖縄県労働局の報告では、在沖米軍関係者を除外した沖縄県における外国人労働者は2018年10月時点で8,138人です (2015年の約3倍)。内訳はネパール1,998人 (24.6%)、ベトナム1,186人 (14.6%)、フィリピン1,014人 (12.5%)、中国936人 (11.5%)、その他となっています。

南部徳洲会病院を受診した外国人患者は、2016年度337人、2017年度750人、2018年度927人でした。2019年度は1,200人に達すると予測しています。2018年度を出身国別で見ますと、アメリカ228人 (24.6%)、中国181人 (19.5%)、台湾97人 (10.5%) で、残りの421人 (45.4%) がネパール、ベトナム、フィリピンなどです。対応言語は英語45.2%、中国語25.3%、日本語22.7%でした。つまり93.2%がこの3か国語での対応でした。英語圏以外でも英語や日本語での会話可能な外国人患者や、通訳者を同伴する場合があります。もちろん、医療の話になりますのでその理解度を確認することが大事です。2016年から2018年度にかけて当院の外国人受診者数は2.8倍に増えてきましたが、幸いクレームや未収金問題は発生していません。これはJMIPの調査員からも高い評価を受けました。

健診目的のメディカルツーリズムはまだ少数であり、外国人観光客の急な発病や事故などへの対応、従来の在沖外国人の検査・治療のための外来通院や入院、急速に増加するとみられる外国人労働者への医療提供が、今後さらに大きくなると思われます。

随筆



出張先での 健康的な過ごし方

首里城下町クリニック第二
比嘉 啓

広報より「随筆」コーナーへの執筆依頼を受けた。「青春の思い出、一枚の写真、趣味云々」とあるが、どれも人様にお披露目できるような面白そうな話題は有していない。書けそうな題材として唯一、内科医として失格な状態であった超肥満（43歳時176cm、97Kg、BMI計算したくない）から奮起一転マラソンにはまり、見事改善した自慢話を書きたいのだが、これも3年前に変形性股関節症を発症し、ケチがついてしまった。しかし、これくらいしかネタがないので、はなしを続けさせていただきたい。

遡ること10数年前の2006年9月、諸事情によりそれまで勤めていた豊見城中央病院から現在の首里城下町クリニックに転勤した。当時は前述のごとく超肥満中年であった。患者からの医師に対する心象・信頼感というものは、総合病院ではその病院の看板・権威で医師個人的資質などマスクされる（総合病院勤務の先生方、ごめんなさい）が、クリニックでは医師の人格とともに、見た目・体系は重要である、と天の声が聞こえてきた。そこでこれまでは患者さんにお勧めしながら自ら実践したことの無いウォーキングを通勤時に開始した。するとどうであろう！食事療法の併用でたった1か月で5Kgの体重減に成功。その後信号にかからないようにそこだけ小走りするなど、徐々にジョグを取り入れて、3か月後には約10Kgの減量を達成できていた。後日談だが、その当時のMRさんから聞いた話では、総合病院からの転勤後の急な体重激減で、私の悪性腫瘍末期説がでていたらしい。それはさておき、転勤3か月後にNAHAマラソンが行われた。TV観戦していたら、一気に「出場したい」という願望が生まれ、2ヶ月半後のおきなわマラソンを完走し

た。それからはマラソン出場をライフワークに組み込み、職員も巻き込みながら県内のNAHAやおきなわマラソンは当然のこと、絶頂期には東京・伊平屋ムーンライト、北海道を合わせた年間5大会、さらには3度の宮古島ワイドー100Kmなどを制覇していった。（写真1）当然諸先輩方にはかなわないものの医師として決して暇ではない状態での練習時間確保は、朝夕の通勤ジョグに加えて、出張朝ランでこなしていった。特に出張朝ランは非常に楽しみで、①皇居・大阪城・京都御所・大濠公園など有名どころに宿泊先からアクセスする地図の下調べで、その地域がよくわかるようになったこと ②出張先で走るためには、前日の飲酒量が激減したこと などいいことづくめだった。2016年2月ごろまでは…

2016年1月宮古島ワイドー、2月おきなわマラソンと年中行事のごとくこなした自分ではあったが、その後左股関節痛がなかなか取れない状態が続いた。例年1か月もすれば痛みはとれるのだが、この時には6月まで引きずっていた。不安に思って前勤務先の豊見城中央病院の股関節専門の先輩の元を受診したところ、「臼蓋形成不全による変形性股関節症」との診断がついたというわけである。それから1年はゆっくりと完走を目指して、恒例の県内2本のフルマラソンをこなした。2017年3月シーズン最後の南部トリム20Kmに出場した。股関節と対話し、ゆっくりとを言い聞かせながら風景を楽しむようにさわやかなランニングを楽しんでいた。だ



写真1

が、やがてその瞬間が訪れたのだ。17Km 過ぎ、残り 3Km 弱、ひとりのランナーが自分の右わきを颯爽と抜いていった。そのランナーは見るからに自分より 10 歳以上年上である。「これでしばらく大会はない。ここで自分より年上のじいさんに負けてたまるか！」股関節との対話を忘れた瞬間であった。結果は残り 1 km で追い抜き、ぶっちぎったものの、失ったものは大きかった。その日から走ることができず、徐々に歩行もままならず、杖を使用するようになっていった。

この 10 年続けたジョギングというライフワークを失った自分はしばらく脱力感全開であった。出張先でもランができないので、夜は飲むしか楽しみがない。喪失感ばりばりである。それでも普段はジムでバイク・筋トレ・プールなどを続けて気分転換をはかるものの、大会に出られない喪失感は半端ではなかった。2017 年 NAHA マラソンは職場仲間や知人友人の応援と称してロードバイクを駆使してあちこちに出没してゲリラ応援に回った。それはそれなりに面白いが、知人からは「なんで走ってないの？」みたいな声を多くかけられた。やはりぽっかり心に穴があいた状態であった。

ロードバイクといえば、変形性股関節症でも許可された。そこで 2017 年 11 月開催されたツールドおきなわに初めて出場した。50Km の市民ロードレースではあるが、2 時間弱（早い人は 1 時間少しなんだが）信号なしのノンストップでやんばる路を走り抜ける爽快感は、マラソンでは得られない喜びを感じた。（写真 2）バイクは気軽に出張先では利用できないのが最大の欠点である。一度宮古島の講演を依頼されたときに、輪行バックといって、ロードバイクをバックに詰めて飛行機にのっけて移動したが、準備が大変で携行品もヘルメット、ビンディングシューズなどたくさんあるので、安易に単なる出張で、皇居サイクリングなどできたものではない。

そんな中、妙案が浮かび実行に移した。最近話題になっている全国展開の 24 時間ジムの利用である。これまで在籍していた大きなジムのようなプールやジャグジーなどの設備はないが、ネーミングどおり 24 時間利用可能なことと、全

国展開なので、出張先で店舗を探すことで全国で利用できる。出張の楽しみができ、最近では出張先々でのジムの外観を写真に収めることを楽しみとしている。（写真 3）

さて、実はこの執筆依頼を受けたのは、人工股関節手術の予定日直前であった。おかげ様で手術は成功し、現在術後の入院先で原稿を書き上げてる。人工関節手術の決心に迷いがなかったかといえはウソになるが、今の自分の 50 歳代半ばという時期に、再度楽しみを広げるために決心したのである。

しかし、股関節手術というものは、成功したら術後の入院は退屈である。こういった溜まった仕事を仕上げるには絶好である。



写真 2



写真 3



腹腔鏡手術との出会い

那覇市立病院 外科
知念 順樹

初めまして、那覇市立病院外科の知念順樹(ちねんよしき)と申します。この度は寄稿する機会を与えて頂きありがとうございます。現在、内視鏡外科学会の技術認定医として、腹腔鏡手術を、安全で、患者様に優しい治療として、導入、定型化に努めています。

少し私の履歴を紹介させていただきます。浦添高校を卒業後、琉球大学を平成16年に卒業しました。その後は、臨床研修必修化に伴い、那覇市立病院で初期研修、外科後期研修を行いました。

後期研修終了後に、消化器癌に対する専門的治療を学ぶため、平成21年、九州がんセンター消化器外科へ専攻医として赴任いたしました。そこで最初に担当した患者様が胃癌の方でした。胃癌の進行度は初期の段階でしたが、既往にアルコール性肝硬変があり、手術自体はもちろん、周術期も難渋すると思われました。予定術式は腹腔鏡下幽門側胃切除術、D1+リンパ節郭清、Billroth-1再建、Delta吻合でした。執刀医は当時の消化器外科部長で、福岡県内でも腹腔鏡手術の名手として知られた先生でした。手術は、先生のテクニック、定型化された手術の手順、最新のデバイスを用いて、難渋するどころか手術は流れるように進み、出血もほとんどなく、4時間程度で手術は終了しました。術後経過も手術と同様に肝硬変の方とは思えないほど、合併症も起こらずスムーズに退院しました。この衝撃は今でも覚えており、今後の外科医人生に大きく影響しました。

上記経験より、腹腔鏡手術を身につけて帰りたいという思いが強くなり、2年間の予定を3年

に延ばしてもらい、胃癌、大腸癌の手術、特に腹腔鏡での手術を勉強いたしました。その甲斐あって、平成24年に沖縄へ帰る時には、合格率が30%以下である内視鏡外科学会の技術認定医を取得することができました。

平成24年より那覇市立病院外科へ戻り、胃癌の腹腔鏡手術を導入し、大腸癌に関しましては、以前より行っていた手術の適応をより拡大していきました。現在では、胃癌、大腸癌の半分以上の症例で腹腔鏡を導入し、直腸癌に関しましては、ほとんどが腹腔鏡手術となっています。癌治療のツールの一つですが、ライフワークと考え、診療を行っています。

腹腔鏡手術のメリットとして、患者様に関しては低侵襲と言われますが、手術する側からすると一番は拡大視効果と考えています。よく見えることより今までに認識していなかった微小な血管や剥離層が認識できる事だと思います。いわゆる綺麗な手術ができると考えています。その他にも出血が少ない等々あります。ただデメリットは十分に理解しなければなりません。一番のデメリットは、手術時間が開腹手術と比較して長い事です。その他にもトロッカーを通す操作となるため動作制限がある事、手術への慣れが必要となり、身の丈に合わない手術を行うと重大な事故に繋がりがねないということです。記憶に新しいところでは、某大学病院での腹腔鏡を用いた高難度の肝臓手術が思い浮かびます。新しい技術を導入する事は大事なことでありますが、一番大事な事は安全に手術が行える事だと考えています。

私の専門である胃癌手術は県内では少なく、ピロリ菌の除菌により減少傾向となると予想されますが、もう一つの専門である大腸癌手術に関しましては、増加傾向であり、さらに腹腔鏡のニーズが高くなると思われます。今後とも、安全に腹腔鏡手術を導入し、少しずつ適応を拡大させていきたいと考えています。今後とも、那覇市立病院外科をよろしくお願い致します。

感 染 症 情 報

沖縄県感染症発生動向調査報告状況

(定点把握対象疾患)

疾 病	定点区分	27 週	28 週	29 週	30 週	
		7/7	7/14	7/21	7/28 (定点あたり)	
		報告数	報告数	報告数	報告数	
インフルエンザ	インフルエンザ	472	523	540	392	(6.76)
RS ウイルス感染症	小児科	299	375	297	217	(6.38)
咽頭結膜熱	小児科	56	65	53	63	(1.85)
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	38	34	32	24	(0.71)
感染性胃腸炎	小児科	139	95	69	93	(2.74)
水痘	小児科	7	22	11	15	(0.44)
手足口病	小児科	47	66	93	126	(3.71)
伝染性紅斑	小児科	15	15	10	8	(0.24)
突発性発疹	小児科	13	8	12	9	(0.26)
ヘルパンギーナ	小児科	30	26	33	21	(0.62)
流行性耳下腺炎	小児科	4	1	2	5	(0.15)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	19	31	28	22	(2.20)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	1	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	1	2	0	3	(0.43)
マイコプラズマ肺炎	基幹	1	2	2	1	(0.14)
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	基幹	0	0	1	0	(0.00)
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	基幹	0	0	0	1	(0.14)

※ 1. 定点あたり・・・対象となる五類感染症（インフルエンザなど 18 の感染症）について、沖縄県で定点として選定された医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると定点 1 医療機関当たりの平均報告数のことです。（インフルエンザ定点 58、小児科定点 34、眼科定点 10、基幹定点 7 点）

※ 2. 最新の情報は直接沖縄県感染症情報センターホームページへアクセスしてください。
麻疹の情報も随時更新しております。
<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

お 知 ら せ

会員にかかる弔事に関する医師会への連絡について（お願い）

本会では、会員および会員の親族（配偶者、直系尊属・卑属一親等）が亡くなられた場合は、沖縄県医師会表彰弔慰規則に基づいて、弔電、香典および供花を供すると共に、日刊紙に弔慰広告を掲載し弔意を表することになっております。

会員に関する訃報の連絡を受けた場合は、地区医師会、出身大学同窓会等と連絡を取って規則に沿って対応しておりますが、日曜・祝祭日等に当該会員やご家族からの連絡がなく、本会並びに地区医師会等からの弔意を表せないことがあります。

本会の緊急連絡体制については、平日は本会事務局が対応し、日曜・祝祭日については、緊急電話で受付して担当職員へ取り次ぐことしておりますので、ご連絡下さいますようお願い申し上げます。

- 平日連絡先：沖縄県医師会事務局
TEL 098-888-0087
- 日曜・祝祭日連絡先：090-6861-1855
- 担当者 経理課：平木怜子 池田公江

産業医研修会のご案内

令和元年度 産業医研修会案内

令和元年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A ・ B ・ C ・ D ・ E ・ F ・ G ・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務1課 久場
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

令和元年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画

申込み 研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名	講師所属	研修タイトル
終了	基礎研修 (前期のみ)	4月18日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)作業管理(2単位) (2)健康保持増進 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)清水 隆裕	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)ちばなクリニック健康 管理センター医長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)過重労働対策として の作業管理の進め方 (2)産業医として診る健 康診断
終了	基礎研修 (前期のみ)	5月16日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 2階会議室2	(1)産業医活動の実際 (2単位) (2)有害業務管理 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)伊志嶺 隆	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)伊志嶺整形外科院長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)産業医活動実施に向 けての留意点 (2)産業医が知っておく べき有害業務管理
終了	基礎(後期)、 生涯 (更新・専門)	6月13日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)労働衛生管理体制 (総括管理) (2単位) (2)労働衛生関係法規 と関係通達の改正 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)加藤 浩司	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)加藤社会保険労務士 事務所	(1)労働衛生管理体制の 構築に向けて、産業 医としてどのように 係わるか？ (2)関係法規及び通達を 読み解き、背景を含 めて改正の動向につ いて理解を深める
終了	基礎(実地)、 生涯(実地)	7月4日(木) 18:30～ 21:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)メンタルヘルス 対策(3単位)	(1)山本 和儀	(1)山本クリニック 院長・ 沖縄産業保健総合支 援センターメンタル ヘルス相談員	(1)ストレスチェックに おける産業医の面接 指導とその後の展開 ※定員 60名
終了	基礎(後期)、 生涯(専門)	8月3日(土) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)健康管理(2単位) (2)作業管理(2単位)	(1)青木 一雄 (2)清水 隆裕	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)ちばなクリニック健康 管理センター医長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)産業医としての健康 管理のミニマム・リ クワイアメント (2)作業管理とは労働時 間と作業時間に注目 して
F	基礎(後期)、 生涯(専門)	9月12日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)有害業務管理 (2単位) (2)労働衛生教育 (2単位)	(1)青木 一雄 (2)清水 隆裕	(1)琉球大学大学院 医学 研究科衛生学・公衆 衛生学講座教授 (2)ちばなクリニック健康 管理センター医長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)有害業務による健康 障害の防止～労働衛 生の原点から化学物 質のリスクアッセメ ントに向けて～ (2)労働衛生教育の対象 と実際
G	基礎(後期)、 生涯(更新・専門)	10月10日(木) 18:30～ 22:30	沖縄県医師会館 3階ホール	(1)労働衛生関係法規 と関係通達の改正 (2単位) (2)メンタルヘルス 対策(2単位)	(1)加藤 浩司 (2)山本 和儀	(1)加藤社会保険労務士 事務所 (2)山本クリニック 院 長・沖縄産業保健総 合支援センターメン タルヘルス相談員	(1)関係法規及び通達を 読み解き、背景を含 めて改正の動向につ いて理解を深める (2)働き方改革の時代の 産業医の役割
H	基礎(実地)、 生涯(実地)	11月9日(土) 18:30～ 21:30	沖縄県医師会館	(1)職場巡視と討論 (3単位)	(1)伊志嶺 隆	(1)伊志嶺整形外科院長・ 沖縄産業保健総合支 援センター産業医学 相談員	(1)バーチャル職場巡視 と討論

※単位制の研修につき、時間厳守でお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

※上記研修会は日本医師会へ申請中です。場所、研修タイトル等が変更になる場合がありますのでご注意ください。

2019年度(後期)産業保健研修会予定表

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。参加ご希望の方は、下欄「申込書」に記載の上、この用紙で(FAX:098-859-6176)お申し込み下さい。当センターホームページにも研修会の案内を掲載しておりますので、ご参照下さい。(https://www.okinawas.johas.go.jp)
 ※なお、「定員」に達した場合は受付を終了させていただくことがあります。ご了承ください。詳しくは当センターホームページでご確認下さい

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただくことがあります。また、「かわら版」の研修予定以外に研修会を開催することがございますのでホームページをご覧ください。

独立行政法人 労働者健康安全機構 沖縄産業保健総合支援センター
 〒901-0152 沖縄県那覇市宇小禄1831-1 沖縄産業支援センター2階
 TEL.098-859-6175 / FAX.098-859-6176

本研修会は「無料」です
 キャンセルの場合はご連絡下さい



さんぽセンターおきなわ

産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医学研修手帳(Ⅱ)」をご持参ください。)

研修会番号	日時	研修時間	研修テーマ	内容	講師	会場
39	10月24日(木)	18:30~20:30	事務系職場の巡視について(生涯実地)	製造業などと違い、事務所場の巡視は、軽視されがちですが、どういった観点で行えばいいのかスライドを見ながらグループ討議をしてみましょう。	伊志嶺 隆 (産業医)	303
40	11月19日(火)	18:30~20:30	職場における発達障害を有する人への合理的配慮について(生涯専門)	発達障害を有する人への合理的配慮について、皆で考えましょう。	国吉 直美 (産業医)	303
41	11月27日(水)	18:30~20:30	産業医学メンタルヘルス・ストレスチェック事例検討会(2)(生涯実地)	ストレスチェック及びメンタルヘルス対策に関連した企業及び個別の事例について検討することを通して、実践的な問題解決法を学びます。	山本 和儀 (産業医)	303
42	12月4日(水)	18:30~20:30	職場巡視の実際2(生涯実地)	職場巡視の役割・ポイント等をまとめ、画像により、事業場内の安全衛生面の問題点をみつけ、その解決方法を共に検討します。	崎間 敦 (産業医)	303
43	12月9日(月)	18:30~20:30	石綿関連疾患診断技術研修(生涯実地)	石綿関連疾患に係る診断について、石綿に関する一般的知識、職域における石綿ばく露、石綿ばく露の把握方法、石綿関連疾患の診断病態、診断及び労災補償制度等について説明します。	岸本 卓己 (岡山労災病院)	304
44	12月10日(火)	18:30~20:30	治療と仕事の両立支援(生涯専門)	治療と仕事の両立支援について、「ガイドライン」を踏まえ、サポートにあたる主治医、産業医等の役割や関わり方について説明します。	産保センター	306
45	12月19日(木)	18:30~20:30	企業における安全配慮義務(生涯更新)	企業が社員に対する安全配慮義務(過重労働、パワハラ・セクハラなど)について、最新の事例をもとに企業の対応策について検討してまいります。	平良 卓也 (弁護士)	307
46	1月17日(金)	18:30~20:30	産業医を対象としたメンタルヘルスの関わり方(生涯専門)	副題:「『こころの立体モデル』マインドの構造について」内容:メンタルを支えるマインドの構造を立体的に解釈し、産業医としてのPEG(patient evaluation grid)の見立てから全人的ケアを目指す方法論を開設します。	岡野 寛 (産業医)	304
47	1月23日(木)	18:30~20:30	ハラスメントとメンタルヘルス(生涯実地)	パワハラが原因でメンタル不調になり休職になるケースが少なからずみられます。事例も交えながらハラスメント対策を考えます。	伊志嶺 隆 (産業医)	303
48	2月6日(木)	18:30~20:30	働き方改革における関連法(生涯更新)	2019年4月1日から働き方改革関連法が施行されました。働き方改革関連法パワーハラスメント対策の内容について、説明します。	前里 久誌 (社労士)	304
49	2月21日(金)	18:30~20:30	産業医を対象としたメンタルヘルスの関わり方(生涯専門)	副題:「『こころの立体モデル』マインドの構造について」内容:メンタルを支えるマインドの構造を立体的に解釈し、産業医としてのPEG(patient evaluation grid)の見立てから全人的ケアを目指す方法論を開設します。	岡野 寛 (産業医)	304

申込書(FAX:098-859-6176)			
開催場所	沖縄産業支援センター 3階会議室		
ふりがな氏名		研修会番号	
所属機関(事業場名)		所属部署	
職種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他()		
電話番号	(FAX)	メルマガ配信の希望の有無	有(email:)・無

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 令和 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
病院から事業所までの所要時間(片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日(事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
()に第何週か記入下さい	①第()水曜日 ②第()木曜日 ③第()土曜日
ストレスチェックの実施者になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの共同実施者になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
 沖縄県医師会業務1課(久場)
 TEL:098-888-0087
 FAX:098-888-0089

講演会・例会のご案内

(9月10日～11月9日)

カリキュラムコード(略称:CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1	全身倦怠感	18	けいれん発作	35	胸やけ	52	不安	69
医療倫理:臨床倫理	2	身体機能の低下	19	視力障害、視野狭窄	36	腹痛	53	気分の障害(うつ)	70
医療倫理:研究倫理と生命倫理	3	不眠	20	目の充血	37	便秘異常(下痢、便秘)	54	流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4	食欲不振	21	聴覚障害	38	肛門・会陰部痛	55	成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5	体重減少・るい瘦	22	鼻漏・鼻閉	39	熱傷	56	慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6	体重増加・肥満	23	鼻出血	40	外傷	57	高血圧症	74
医療の質と安全	7	浮腫	24	嘔声	41	褥瘡	58	脂質異常症	75
感染対策	8	リンパ節腫脹	25	胸痛	42	背部痛	59	糖尿病	76
医療情報	9	発疹	26	動悸	43	腰痛	60	骨粗鬆症	77
チーム医療	10	黄疸	27	心肺停止	44	関節痛	61	脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11	発熱	28	呼吸困難	45	歩行障害	62	気管支喘息	79
地域医療	12	認知能の障害	29	咳・痰	46	四肢のしびれ	63	在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13	頭痛	30	誤嚥	47	肉眼的血尿	64	終末期のケア	81
災害医療	14	めまい	31	誤飲	48	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65	生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15	意識障害	32	嚥化困難	49	乏尿・尿閉	66	相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16	失神	33	吐血・下血	50	多尿	67	その他	0
急性中毒	17	言語障害	34	嘔気・嘔吐	51	精神科領域の救急	68		

開催日	場所	名称	講師	CC	問合せ先 参加費
09/10 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①未定(未定) ②未定(未定)	①9)0.5単位、 15)0.5単位 ②1)0.5単位、 73)0.5単位	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-851-3077 参加費 なし
09/10 (火) 19:15	沖縄ハーバー ビューホテル	女性疾患フォーラム (日医生涯教育講座) ①女性の便秘と便秘ガイドラ イン ②女性特有の疾患～女性ホル モンはもろ刃の剣～	①外間 雪野(日本赤十字社沖縄 赤十字病院消化器内科第一部長) ②銘苺 桂子(琉球大学大学院医 学研究科女性・生殖医学講座 講師)	①82)0.5単位 ②82)0.5単位	持田製薬(株) 大西 祐紀 098-866-8805 参加費 なし
10/18 (金) 19:00	中頭ホール	中部地区 不整脈連携講演会 (日医生涯教育講座) ①潰瘍性大腸炎の基本治療薬 の使い方 ②クローン病の病態を考慮に 入れた治療戦略	①安部 瞬 先生(中部徳洲会病 院 消化器内科) ②平井 郁仁 先生(福岡大学医 学部消化器内科学教室 教授)	①54)0.5単位 ②53)0.5単位、 55)0.5単位	中部地区医師会 比嘉 嗣美 098-936-8201 参加費 なし
10/23 (水) 19:30	沖縄県医師会館	沖縄消化器内視鏡会10月例会 ①消化器疾患症例提示	県立南部医療センター・こども医療セ ンター		浦添総合病院 譜久村 由美子 098-878-0231 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。
※お願い: 11月10日～11月9日迄の講演会例会等が決まれば、9月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

労務管理者向け勤務環境改善セミナー開催のお知らせ

ご承知のとおり、改正医療法において、医療機関の勤務環境改善が各医療機関の努力義務として位置づけられたことに伴い、沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）では、平成 27 年度よりみだしセミナーを開催しておりますが、今年度も引き続き、職場環境改善に必要な知識の習得・啓発に向けたセミナーを下記のとおり開催いたします。本セミナーでは、終了後、医療機関からの無料相談会も実施しております。

参加ご希望の方は、各セミナー番号に○印を付け、必要事項を記載の上、FAX（098-888-0089）にて各日程の 2 週間前までにお申し込み下さい。

日時		時間	プログラム
終了	6月10日（月）	13:30 ～ 15:30	「平成 31 年度 働き方税制を活用して進める医療機関の勤務環境改善」 （働き方改革関連法施行に伴う企画 1 回目） 講師：県担当者、名城 志奈（アドバイザー社労士）
終了	7月22日（月）	13:30 ～ 15:30	「働き方改革に伴う法改正の実務 ～年次有給休暇について」 （働き方改革関連法施行に伴う企画 2 回目） 講師：比嘉 太（アドバイザー社労士）
終了	8月5日（月）	13:30 ～ 15:30	「働き方改革に伴う法改正の実務 ～残業規制について」 （働き方改革関連法施行に伴う企画 3 回目） 講師：村上 礼子（アドバイザー社労士）
4	9月9日（月）	13:30 ～ 15:30	「PDCAで進める、医療機関の勤務環境改善の実践」 内容：ワーク・ライフ・バランス推進リーダーに役立つ事例とワークショップ 講師：青山 喜佐子（アドバイザー社労士）
5	10月21日（月）	13:30 ～ 15:30	「ここがポイント、平成 31 年度の助成金をまるっと紹介」傾向と対策 講師：名城 志奈（社会保険労務士）
6	11月11日（月）	13:30 ～ 15:30	「働き方改革をすすめるための労務管理のポイント！（仮）」 内容：医療機関における働き方改革を進める際の課題について 最新の情報提供を行います

✚ セミナー対象者は、労務管理者、または今後そうした立場になる可能性のある方、職場環境改善に関わる方などを含みます。申込が複数いる場合はコピーをご利用下さい。

✚ セミナー開催場所は、沖縄県医師会館（南風原町字新川 218-9）で開催いたします。

----- 参加申込票 -----

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込番号	-1-	-2-	-3-	4	5	6
施設名						
職氏名						

沖縄県医師会事務局
沖縄県医療勤務環境改善支援センター 久場
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

医療勤務環境改善支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医療分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報提供

助言

支援

医療勤務環境改善に関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）
労働安全衛生（スタッフ健康支援）
施設環境整備（ハード・ソフト）
キャリア形成支援等

診療報酬制度面
医療制度・医療法制度面
組織マネジメント・経営管理面
各種補助メニューの活用提案

お問い合わせ

TEL:098-888-0087

沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川218-9
FAX:098-888-0089 平日9時~17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryoin-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】

勤務環境改善をしたい
A病院

相談

医療勤務環境改善支援センター

派遣等

A病院
勤務環境改善チーム発足

日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会
勤務医の労務管理に関する分析・改善ツール
http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf

勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート

[1] 労働時間管理に関する勤務医への周知

PDCAサイクル

P 計画	D 実施	P lan 方針表明・組織づくり
A 見直し	C 評価	D o 自己評価「自主監査」・改善策選定・自主ルール作成
		C heck 運用と評価
		A ct 定期的な見直し

沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：令和 年 月 日

所属機関		
連絡先	TEL	内線
担当者氏名		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面	
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談	
希望日	令和 年 月 日	

沖縄県医師会

災害医療研修会のご案内

2019 年度沖縄県医師会災害医療研修プログラム

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震等の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた姿勢の整備として、平成 26 年度より災害医療研修プログラムを実施しております。

2019 年度の開催プログラム(一部未定あり)が決定いたしましたのでお知らせいたします。各コースへの受講申込は、下記により FAX(098-888-0089)にてお申込みください。

No	日時	プログラム(案)	研修形態
終了	7 月 20 日(土) 15:00-17:00	地域医療本部の立ち上げと運営	講義+図上
2	9 月 5 日(木) 19:30-21:00	J-SPEED、EMIS の入力	講義+演習
3	10 月 17 日(木) 19:30-21:00	メンタルヘルス・DPAT	講義
4	10 月 31 日(木) 19:30-21:00	医療救護所の運営と巡回診療	講義
5	調整中	公衆衛生(DHEAT の視点から)	講義

- 会場は、沖縄県医師会館 3 階ホールを予定しております。

----- 参加申込票 -----

- FAX:098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	1 <u> </u> • 2 • 3 • 4 • 5
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他

医師年金

<認可特定保険業者>公益社団法人 日本医師会

ご加入のおすすめ

加入資格 64歳6カ月未満の日本医師会会員 (会員区分は問いません)

☑年金検討チェックリスト

- 公的年金では現役時代の生活水準を維持できない
- コツコツ積立てて十分な年金を確保しておきたい
- 一生涯受け取れる年金が望ましい
- 受け取れる年金の額を効率的に増やしたい
- 医師独自のライフスタイルにあった年金がいい
- 加入前に受取年金額のシミュレーションを確認したい

1つでも該当したら…

医師年金ご加入をおすすめします!

医師年金ホームページで、
簡単シミュレーション!

医師年金 検索

<http://www.med.or.jp/nenkin/>

ご希望の受給額や保険料、生年月日を入力するだけで、簡単に受取年金月額のシミュレーションができます。ぜひお試しください。

個別プランの設計や詳しい資料のご請求はこちら



公益社団法人
日本医師会 年金・税制課

TEL : 03-3946-2121(代表) / 03-3942-6487(直通)

FAX : 03-3942-6503

受付時間 : 午前9時30分~午後5時(平日)

E-mail : nenkin@po.med.or.jp

保険料からプラン作成

<p>保険料</p> <p>●基本：月払 加入：月払</p> <p>加入年金：(10万円) 月額保険料 40,000円</p> <p>基本年金：月額保険料 12,000円</p> <p>加入期間 24年 6ヶ月 (294日)</p> <p>月額月払保険料 12,600円</p>	<p>受給年金</p> <p>●81コース</p> <p>加入年金 月額保険料15万 60,000円</p> <p>基本年金 月額保険料15万 17,200円</p> <p>加入期間 18年 6ヶ月 (207日)</p> <p>月額月払保険料 103,300円</p> <p>15年受給総額 18,668,000円</p> <p>●82コース</p> <p>加入年金 月額保険料 36,800円</p> <p>基本年金 月額保険料15万 17,200円</p> <p>加入期間 18年 6ヶ月 (207日)</p> <p>月額月払保険料 385,800円</p> <p>15年受給総額 25,712,000円</p> <p>●83コース</p> <p>加入年金 月額保険料 59,100円</p> <p>基本年金 月額保険料15万 17,200円</p> <p>加入期間 18年 6ヶ月 (207日)</p> <p>月額月払保険料 209,300円</p> <p>15年受給総額 26,028,000円</p> <p>●84コース</p> <p>加入年金 月額保険料 135,100円</p> <p>基本年金 月額保険料15万 17,200円</p> <p>加入期間 18年 6ヶ月 (207日)</p> <p>月額月払保険料 149,300円</p> <p>15年受給総額 26,878,000円</p>
--	--

設定条件をご確認ください。

試験日 平成 27年 3月 7日
 生年月日 昭和 50年 1月 1日
 試験日年齢 40歳

加入申込期間 平成 27年 6月 15日
 加入申込年齢 平成 27年 7月
 加入時年齢 40歳 6ヶ月

加入申込開始年齢 平成 27年 7月

年金受取開始年月 平成 52年 1月
 年金受取開始年齢 65歳

私引保険料算定 21,166,000円

注意事項です。お読みください。

- 1. 加入申込期間は、1日か土日・祭日時の場合は、その前日となります。
- 2. 「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生涯受け取ることが出来ます。
- 3. 「仮付期間15年」では、受給者ご本人が仮付期間中に死亡した場合は、15年の満期にのみ、ご遺族の方のみが受取ることが出来ます。
- 4. 他社年金の受給額(特別払込)は、受給開始前月の受給額に上乗せされます。
- 5. 高齢者年金は、75歳まで受給出来ます。
- 6. 「受取在途月数」は数値です。現在は年利率1%での計算となっております。将来、年利率の増減が決定する場合は、変更になる場合があります。

20150601S8

日本医師会が運営する医師のための私的年金
日本医師会 **医師年金**

最新マップへ
個人所得保障方針
重要事項の通知

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続きガイド お問い合わせ・資料請求

豊かで安心できる将来に向けて

現役引退後、公的年金だけで、現在の生活水準を維持できますか？

医師年金についてシミュレーションしてみましょう。

保険料からシミュレーション 受給年金からシミュレーション

お知らせ

- 2019年2月26日 医師年金ホームページ「シミュレーション機能拡充」について
- 2019年3月21日 東日本大震災に関わる特別措置の終了について
- 2019年12月 認可特定保険料の認可取得に関する制度改定のお知らせ
- 2019年4月9日 特定保険料の認可申請についてのお知らせ・特定保険料の認可申請について
- 2011年2月7日 医師年金受給者不審電話に関するお知らせ

医師年金の特長

- 日本医師会会員のための私的年金
- 積立型の私的年金
- 事務手数料が少額
- 年金の受取コースは支給開始時に選択
- 満64歳以降75歳未満まで加入可能
- 一生享受される年金
- 保険料の増減は自由
- 年金の受取開始を満75歳まで延長可能
- 所属医師会・会費種別が変わっても継続可能

医師年金のしくみ

- 保険料について
- 加入費用について
- 給付について
- 遺族年金
- 喪失年金
- 傷病年金
- 満期年金
- その他
- 税金の取扱いについて

よくあるご質問 手続きガイド リンク お申込・資料請求

医師年金 HP のトップページの「保険料」及び「受給年金」からシミュレーションが可能です。

日本医師会が運営する医師のための私的年金
日本医師会 **医師年金**

最新マップへ
個人所得保障方針
重要事項の通知

医師年金の特長 医師年金のしくみ 医師年金シミュレーション よくあるご質問 手続きガイド お問い合わせ・資料請求

医師年金シミュレーション

ホーム 医師年金シミュレーション 保険料からシミュレーション

医師年金シミュレーション

保険料からシミュレーション

生年月日 保険料を入力して、受給年金のシミュレーションをしてみましょう。

生年月日 昭和50年 1月 1日

基本保険料払込方法 月払 年払 一括払

加算保険料払込方法 月払 随時払 なし

加算保険料月額 10,000円 月払 50,000円

リセット

計算開始

※シミュレーションの試算結果(年金月額)は、総額計算による概算です。

お問い合わせ

必要な情報を入力し、「計算開始」のボタンをクリック。

日本医師会が運営する医師のための私的年金
日本医師会 医師年金
[トップページへ](#) [サイトマップへ](#)
[個人情報保護方針](#) [重要事項のお知らせ](#)

● 医師年金の特長 ● 医師年金のしくみ ● 医師年金シミュレーション ● よくあるご質問 ● 手続きガイド ● お問い合わせ

ホーム > 医師年金シミュレーション > 保険料からシミュレーション

医師年金シミュレーション

保険料からプラン作成 (試算結果)

試算結果は簡易計算による概算です。

[戻る](#) [PDF](#)

保険料

■ 基本：月払、加算：月払

加算年金 (10口)	月払保険料 60,000円
基本年金	月払保険料 12,000円

40歳 ————— 65歳

支払期間 24年7ヵ月 (295回)

合計月払保険料 72,000円

■ 設定条件をご確認ください。

試算日	平成27年 3月16日
生年月日	昭和50年 1月 1日
試算日年齢	40歳
加入申込期限日	平成27年 5月15日
加入予定年月	平成27年 6月
加入時年齢	40歳5ヵ月
加算払込開始年月	平成27年 6月
年金受給開始年月	平成52年 1月
年金受給開始年齢	65歳
払込保険料累計	21,240,000円

■ 注意事項です。お読みください。

- 加入申込期限は、15日が土日・祝祭日の場合は、その前日となります。
- 「終身年金」は、加入者ご本人であれば一生受け取ることができます。
- 「保証期間15年」では、受給者ご本人が保証期間中におこなくなりになった場合、15年の残りの期間について、ご遺族の方が必ず受け取ることができます。
- 「受取コースの選択 (B1~B4)」は、受取開始の時に決めいただきます。
- 受取開始年齢は、75歳まで延長できます。
- 「受取年金月額」は概算です。現在は年利率1.5%での計算となっており、将来、年金の制度改定が行われる時は、変更になる場合があります。

受給年金

● B1コース

加算年金	保証期間15年 86,500円	終身
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 ————— 80歳

受取月額

103,800円 103,800円

15年受取総額 18,684,000円

● B2コース

加算年金	5年確定型 370,100円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 — 70歳 ————— 80歳

受取月額

387,400円 17,300円 17,300円

15年受取総額 25,320,000円

● B3コース

加算年金	10年確定型 191,900円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 — 75歳 ————— 80歳

受取月額

209,200円 17,300円 17,300円

15年受取総額 26,142,000円

● B4コース

加算年金	15年確定型 132,600円	
基本年金	保証期間15年 17,300円	終身

65歳 ————— 80歳

受取月額

149,900円 17,300円

15年受取総額 26,992,000円

[このページの先頭へ](#)

[戻る](#) [PDF](#)

シミュレーション結果が分かり易く表示されます。

生涯教育／プライマリ・ケア

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際（症例報告）は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度（原則として 10 以内）とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名、雑誌名、発行年；巻：ページ。

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名、(版数)、発行所、発行所の所在地、発行年；引用ページ。

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名、編者名、シリーズ名、巻数、発行所、発行地、発行年；引用ページ。

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名 (編者名)：サイト名、URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き。http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間 (週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

平成 29 年 7 月 1 日より

令和元年の夏、会員の皆様はいかが過ごされているのでしょうか。毎日の気象情報では日本全国、猛暑を示すオレンジから赤で埋め尽くされています。気温的には北海道より沖縄が低かったり、本当に異常気象です。台風もしかりで、台風発生数が例年より少なく、進路もいきなり本土へ向かうと言う、これまた異常です。台風は人間にとって災害をもたらす悪であっても動植物にとっては必ずしもそうではありません。昨年9月の大型台風で我が家のカイガラムシで蝕まれたプルメリアやアセロラは枝ごとカイガラムシと吹き飛ばされました。この夏、プルメリアは例年になく咲き誇り、アセロラは真っ赤な甘酸っぱい実をつけています。自然の再生力には驚くばかりで、必要最低限の台風到来は是としないといけないと感じています。

さて、9月号の会報は安里良盛先生のイタリアの夏の終わりのビーチの風景写真から始まります。先生は毎年ヨーロッパの眼科学会への参加の折、ヨーロッパの市街地の風景を撮影され、毎年のカレンダーとして、個人的にも送ってもらっています。会報の内容では、はじめに出口先生が第127回沖縄県医師会医学会総会を詳細に報告し、第215回沖縄県医師会定例代議員会では平成30年沖縄県医師会一般会計等が全会一致で承認されたことを稲田常任理事が報告しています。次に白井理事が九州ブロック日医代議員会連絡会議の内容を報告していますが、その中で横倉義武日本医師会長のドイツ医師会年次総会に出席報告はとても興味深い。ドイツでは医学部入学生の70%が女性で、女性医師の殆どが勤務医とのこと。また、働き方も

我が国と大きく異なり、ドイツ医師の50%は週の労働時間が30時間で、従って医師不足が問題であり、その解決のために医学部入学定員増を行っています。不足分は隣国の東ヨーロッパから補っているようで地域医療問題（地域偏在など）の解決に国が大きく関与しているようです。令和元年第1回マスコミとの懇談会は「働き盛り世代の健康づくり～あなたと家族のために65歳未満の死亡を防ぐ～」のテーマで安里会長自らの講演でした。戦後極端な医師不足から始まった当県の医療提供体制は医師数、救急医療体制などどれをとっても本土に引けを取らないまでになってきたが、何故働き盛り世代の死亡率が高いのかの疑問から始まった沖縄県医師会の活動「65歳未満健康死亡率改善プロジェクト」を紹介した内容です。討論ではマスコミや各科医師、医師会とで活発に行われたことが記載されています。ぜひご一読ください。生涯教育コーナーは、はしかプロジェクト副委員長の浜端宏英先生が沖縄県はしかゼロプロジェクト活動（麻疹確定診断のお願い）です。従来の臨床診断では見逃される症例があり、PCR検査などによる確定診断の重要性を強調されています。プライマリ・ケアコーナーは沖縄赤十字病院外科の豊見山先生が担当され、抗血小板薬・抗凝固薬内服中の患者の特に緊急手術での対応について事例を混じえて述べており興味深い。その他にもインタビューコーナー、発言席、月間行事、随筆など内容の濃い9月号となっています。診療の傍ら手にとっていただきたいと思います。

広報委員 本竹 秀光